

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査のデータなどを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されているデータを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

当院における胸腔鏡下肺手術（VATS）で使用するダブルルーメンチューブ（DLT）の選択方法についての後ろ向き研究

【研究機関】 愛媛大学医学部麻酔・周術期学

【研究責任者】 高崎 康史（麻酔・周術期学 准教授）

【研究の目的】

過去に受診された患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、胸腔鏡下肺切除術において用いられたダブルルーメンチューブのサイズ選択と身体的特徴（身長、体重など）や術前の胸部レントゲン写真での気管や気管支径の計測値との相関について研究を行うことといたしました。その後この研究によりチューブサイズ選択において当院で統一した基準が示すことができることを期待しています。

【研究の方法】

対象となる患者さん 2017年1月から2019年12月までに愛媛大学医学部附属病院で胸腔鏡下肺切除術を受けた成人の患者さんです。

（利用するカルテ情報）性別、登録時の年齢、現病歴、身長、体重、レントゲン検査内容、手術麻酔関連の情報 等

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 麻酔・周術期学 高崎 康史

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院麻酔・周術期学 高崎 康史

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5383